

水道料金改定に係る料金体系検討パターン案

資料1

パターン	現状	①案	②案	③案	④案
主な見直し事項	現状	準備料金φ13をφ20へ統一 集合家事用準備料金を一般 用φ20へ統一	①案への移行として差の1/2 を適用	②案に加え通増度縮小に配 慮	②案に加え全モデルケースで 料金引き下げ
準備料金への配分割合	26.0%	28.9%	28.1%	28.8%	28.8%
準備料金(φ13)	910円	φ20へ統一 1,120円	φ20との差の1/2を付加 1,010円	φ20との差の1/2を付加 1,010円	φ20との差の1/2を付加 1,010円
集合家事用準備料金	φ13:720円 φ20:930円	一般用φ20へ統一 φ13:1,120円 φ20:1,120円	一般用φ13とφ20から一般 用との差の1/2を控除 φ13:910円 φ20:1,020円	一般用φ13とφ20から一般 用との差の1/2を控除 φ13:910円 φ20:1,020円	一般用φ13とφ20から一般用 との差の1/2を控除 φ13:910円 φ20:1,020円
φ13φ20、集合以外の準備料金	現状	現状	現状	小口径現状、 中大口径:約10%～25%増額	小口径現状、 中大口径:約10%～25%増額
水量区画、単価区分	7段階、5区分 (85円、135円、240円、290 円、290円、290円、240円)	7段階、7区分 (75円、125円、230円、255円、 260円、265円、240円)	7段階、6区分 (75円、125円、230円、250円、 275円、275円、240円)	7段階、5区分 (78円、125円、230円、255 円、255円、255円、240円)	7段階、7区分 (65円、135円、240円、255円、 265円、275円、230円)
通増度	3.41 (2.82)	通増度拡大 3.53 (3.20)	通増度拡大 3.67 (3.20)	通増度縮小 3.27 (3.08)	通増度拡大 4.23 (3.54)
地下水利用等大口徑使用者	現状	準備料金：現状 水量料金：3,001～ 10,000m ³ を25円/m ³ 下げ	準備料金：現状 水量料金：3,001～ 10,000m ³ を15円/m ³ 下げ	準備料金：25%上げ 水量料金：3,001～ 10,000m ³ を35円/m ³ 下げ	準備料金：25%上げ 水量料金：3,001～ 10,000m ³ を15円/m ³ 下げ、 10,001m ³ 以上も10円/m ³ 下げ